

天国との通話

藤倉 一郎

天国通話開通……いよいよ開通、天国通話！

IDDによる天国通話が本年9月から開通します。

009の後に存命中の携帯電話番号を押しますと、

直接天国へ旅立った故人の携帯電話に接続されます。

どうぞお試しください。なお電話料金は無料です。

私：もしもし私です。久しぶりです。電話もずいぶん進歩しました。こつこつと、あなたとお話できるよつになるとは思いませんでした。

友人：それにしてもあなたはお元気で、そちらでまだお仕事をされているのにはびっくりしています。

私：今日まで何の情報もないもんですから、わかりませんでした。そちらでは何か仕事をしてるんですか。

友人：いや、仕事は何もしていません。一日中新聞を読んだ

り、TVを見たり、釣りをしたり、ゴルフをしたりで時間が足りないくらいです。

私：食事はどつしてらんですか。

友人：食事は食べる必要はないんです。おなががすかないんですから。

私：言葉は日本語で通じるんですか。

友人：言葉は何語で話してもちゃんと理解できます。フランス語で話しても英語で話しても、そのまま理解できますし、私の日本語もアラブ人もロシア人も理解できます。

私：食事は食べなくても飲み物くらいは飲むんですか。

友人：飲み物もありません。空気を吸っているだけです。

私：病気になるたことはありますか。

友人：それはありません。健康で医療は必要ないんです。だから病院も、診療所もありません。

私：警察はあるんですか。

友人：軍隊も警察もありません。国がないんですから。何処に住んでもいいので、まったく自由です。

私：住民登録のようなものはあるんですか。

友人：役所がないんです。死んだ時に持ってきた死亡届がそのまま有効なんです。

私：仕事の心配はないし、食べる心配はないし、新聞や雑

誌はあるんですか。

友人・新聞も雑誌もそちらのものは全部あります。文書館で自由に読めます。TVも各国のすべてのTV放送がみられます。それに、どんな言葉でもそのまま理解できるので本当に楽です。

私：友達にお会いになりますか。

友人・時々会っています。年齢が記憶年齢といって、その人と一緒に生活していた時代の年齢になりますので、変化があつてとても楽しいです。

私：お父さんやお母さんにもお会いになりましたか。

友人・私が子供の時代の父や母に会つてとてもうれしかったです。

私：とにかく楽しそうですね。一汁からは自民党が敗北し民主党が大躍進して、今大変ですよ。

友人・それは新聞やTVで知っています。少し世の中も変わらなければだめです。

私：何でも分かつてるんですね。

友人・あなたのことすべて承知しています。この4月に勲章をもらいましたね。勲十一等だそうですね。おめでとつございます。それにしても、いい加減に死に届を出して、こちらにきたらいいですよ。すばらしいことです。なにしろ天国ですから。昔の恋人にも会える

表紙の言葉

「湖畔秋景」飯田 収（東京都千代田区）

軽井沢にある「霊場の池」へは、四季を通じて訪れる程、魅力を感じている場所である。これに応じた絵の作品も溜まっているのだが、考えてみると雪景色だけが欠けている。極度の寒気嫌いなための結果だと思うが、ここに住む人々から、「冬の軽井沢は最も美しく」と、とかく言われていたが、身をいとう気持ちが優先して、まだ訪れたことがない。この絵は最盛期の秋景であるが、私の初個展の際に画廊の正面に据えた20号の作品で、今までの軽井沢風景の中では一番力の入った絵だと自分では思っている。いつか池畔でスケッチをしている時に自分もこの処を絵にしたい。勇気を得たと述べて立ち去った老婦人の言葉が心に残っている。

私：かもしれません。ありがとうございます。早めに参加しますのでよろしくどうぞ。